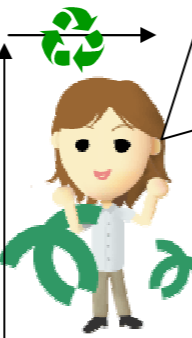


でも、どうやったらごみを減らせるんでしょう?? 市内で出されたごみの中身をチェックしてみましょう!!

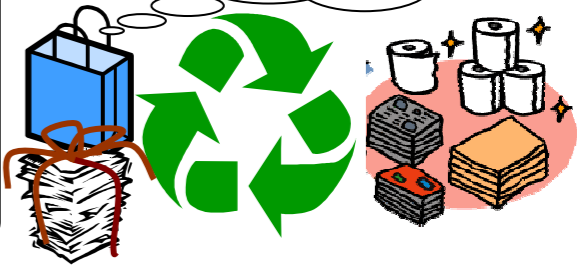


今回は、ごみの特集にしてみました。150万人みんなで少しでも取り組み、ごみを減らすことも可能です。また、例えば、資源が高騰する中、このルートでは携帯電話などのレアメタルは回収することができません。それぞれ専用の回収システムを守って、貴重な資源を大切にしましょう。

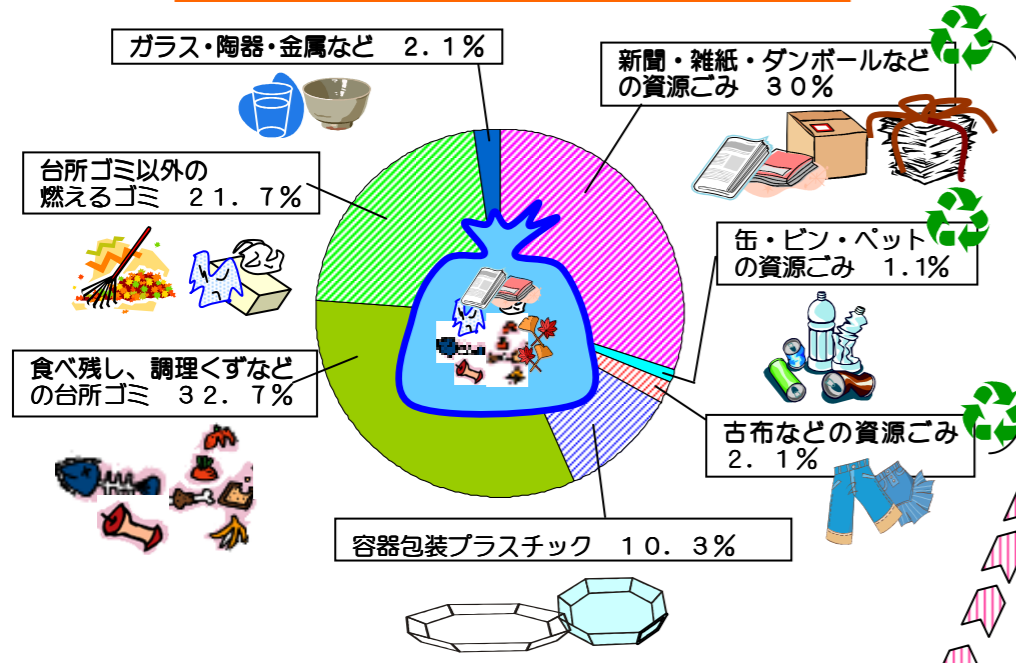


家庭から出る「燃えるごみ」の33.2%に、「燃えないごみ」の15.3%に古新聞や雑紙といった、リサイクル可能な資源ごみが混入しています。古紙の資源化は、自治会・婦人会・子ども会・PTA等の地域団体による「資源集団回収活動」によって、進められています。「協力していきたいんだけど、いつ、どこに捨てたらいいのかわからない」という方、ホームページに、資源集団回収の地域ごとの情報を掲載しています。お住まいの地域のお近くの回収情報を調べることができますよ。
<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/24/koshi>
古紙はごみとして捨てずに、資源集団回収に出しましょう!

古紙は新たに再生紙として蘇ります。

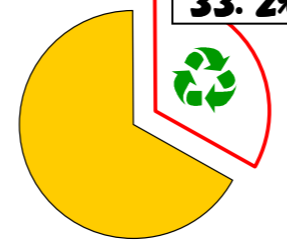


～燃えるごみの組成～



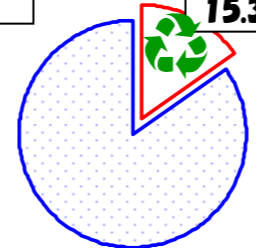
燃えるごみ

資源ごみ合計 33.2%



燃えない/粗大金属ごみ

資源ごみ合計 15.3%



～雑紙もリサイクルに出せます～

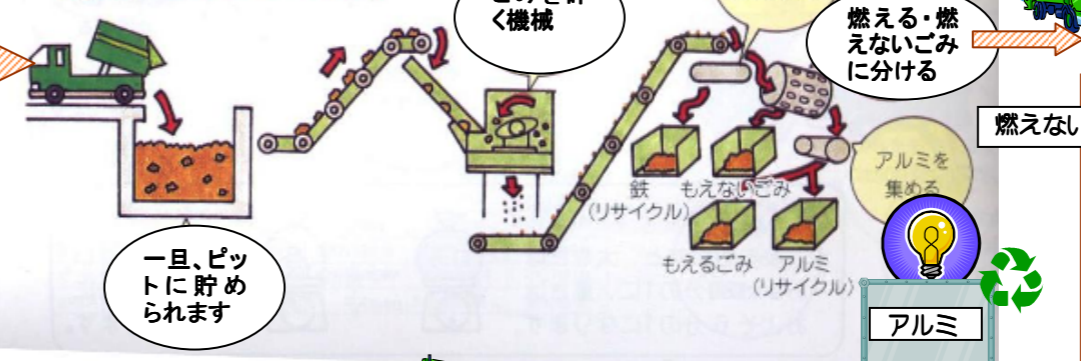
- 古新聞・ダンボール以外に、次のような雑紙も出せます!!
- 雑誌、パンフレット、カタログ、ポスター、カレンダー
 - 古本、教科書、ノート、プリント、画用紙
 - お菓子の箱や包装紙
 - コピー紙、はがき、名刺、封筒
 - ティッシュペーパーの箱（ビニールは取ってください）
 - トイレトーパーの芯やストッキングやシャツの襟の台紙

～燃えないごみ粗大金属ごみのゆくえ～



破碎選別施設(布施畑・妙賀山)

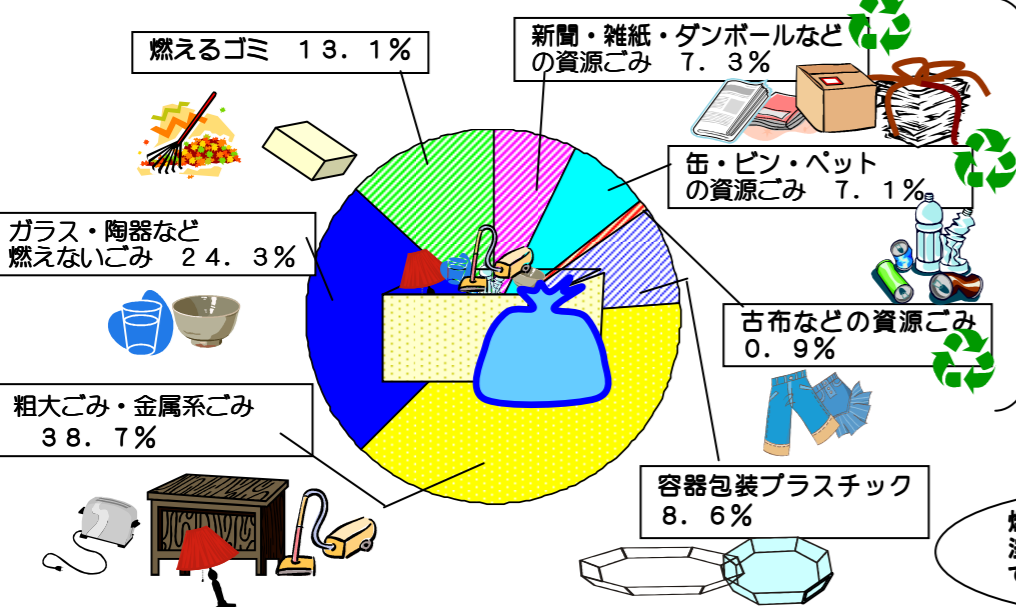
〈破碎選別のしくみ〉



選別された「燃えるごみ」は、再び、クリーンセンターに運ばれ焼却されます。

流れを絵で見ると、分別ルールを守らないと、運搬量が増えてしまうことがわかりますね?分別することは、資源化への第1歩。今年11月から、北区では容器包装プラスチックの分別収集も始まりです。

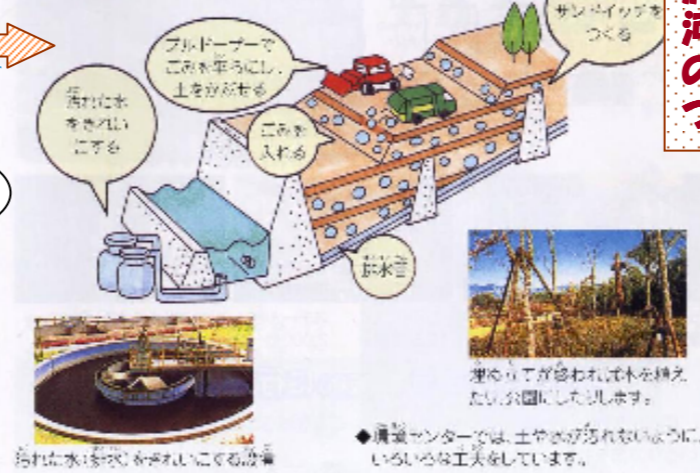
～燃えないごみ・粗大金属ごみの組成～



燃えないごみは、布施畑、淡河にある環境センターで埋め立てられます。

環境センター(布施畑・淡河)

〈環境センターのしくみ〉



*燃えないごみも、ひとりひとりが出す量を減らせば、布施畑、淡河の埋め立てセンターの寿命を延ばすことにつながられます。

3.6万m³/年

